

# 「市民のスポーツ活動等に関する基礎調査」報告書（概要版）

## I 調査概要

- 1 調査目的
  - ・新型コロナウイルス感染症による意識・行動変容、急速な高齢化の進展等、スポーツを取り巻く環境はここ数年で大きく変化している。
  - ・こうした急速な環境の変化を鑑み、本調査では、市民のスポーツに関する実態やニーズ等を把握することで、今後のスポーツ振興施策の展開や「第4次豊田市生涯スポーツプラン」の進捗管理等に生かしていく。
- 2 調査対象 満16歳以上の市民6,000人（無作為抽出）
- 3 調査期間 令和5年1月10日～31日
- 4 調査方法 郵送による調査票等の配布及び回収
- 5 回収結果 発送数：6,000 回収数：3,064 回収率：51.1%
- 6 過年度比較 本調査の設問の一部については、令和2年度に豊田市教育委員会が実施した「豊田市教育に関するアンケート調査」（以下「教育アンケート」という。）に盛り込まれたスポーツに関する設問と同様の内容（一部選択肢の追加を含む）とすることで、経年比較が可能な形とした。

### (4) 中学校区

「末野原」が5.8%と最も多く、次いで「朝日丘」が5.4%、「逢妻」が5.3%となっている。

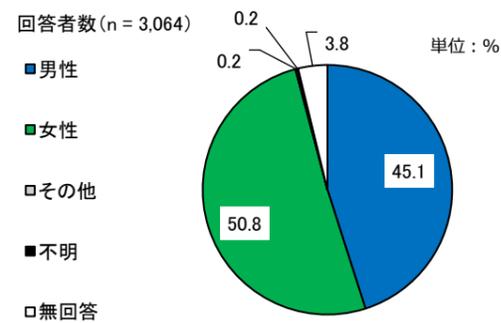
逢妻	旭	朝日丘	足助	井郷	石野	稲武	梅坪台
5.3	2.9	5.4	2.5	3.0	2.3	2.5	2.7
小原	上郷	猿投	猿投台	下山	浄水	末野原	崇化館
2.2	3.3	2.3	2.2	2.5	2.6	5.8	4.6
高岡	高橋	藤岡	藤岡南	豊南	保見	前林	益富
4.3	4.4	2.7	1.6	5.2	2.6	3.5	2.6
松平	美里	竜神	若園	中学校区が分からない	不明	無回答	
2.3	4.4	4.8	2.2	1.9	0.9	4.7	

## II 調査結果

### 1 回答者の属性

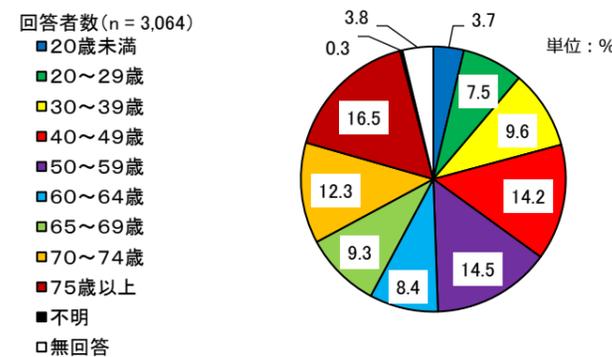
#### (1) 性別

「男性」が45.1%、「女性」が50.8%となっている。



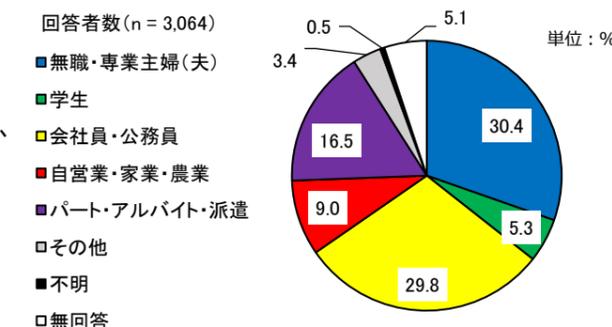
#### (2) 年代

「75歳以上」が16.5%と最も多く、次いで「50～59歳」が14.5%、「40～49歳」が14.2%となっている。



#### (3) 職業

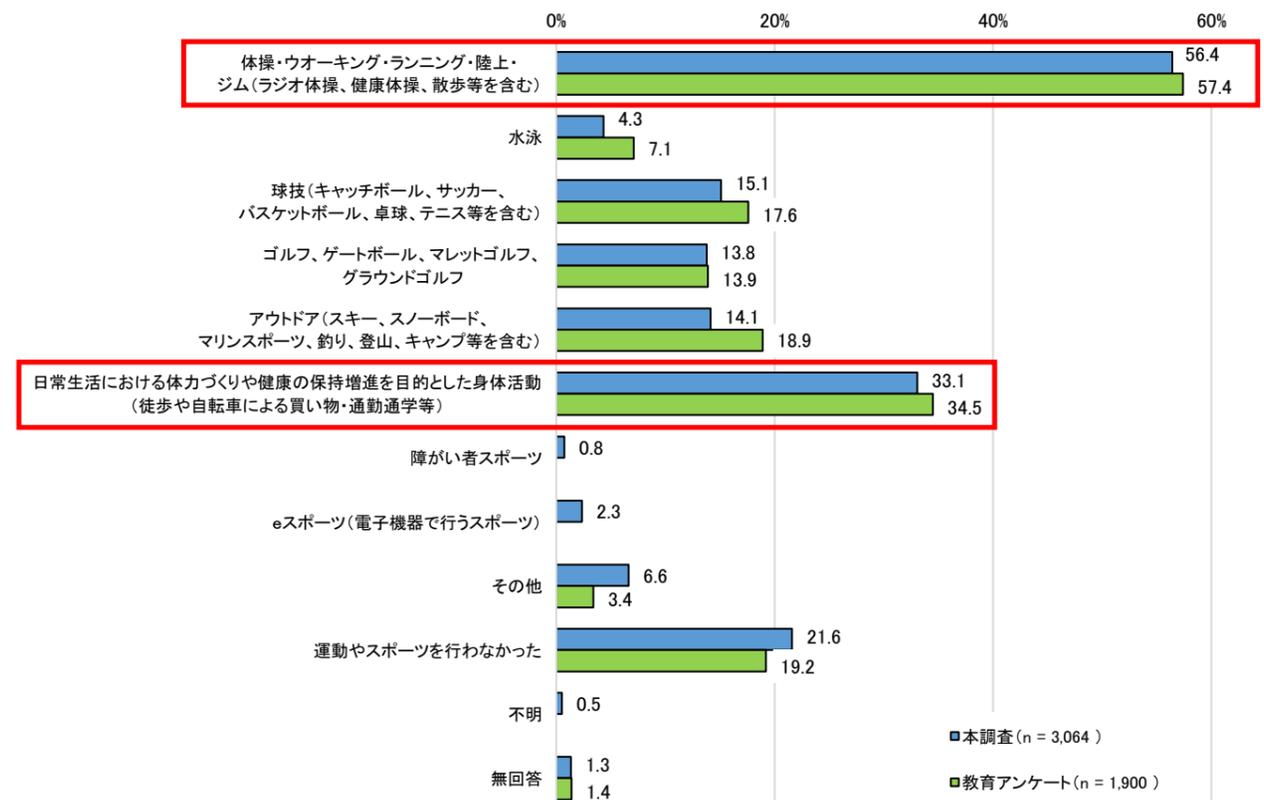
「無職・専業主婦（夫）」が30.4%と最も多く、次いで「会社員・公務員」が29.8%、「パート・アルバイト・派遣」が16.5%となっている。



## 2 するスポーツ

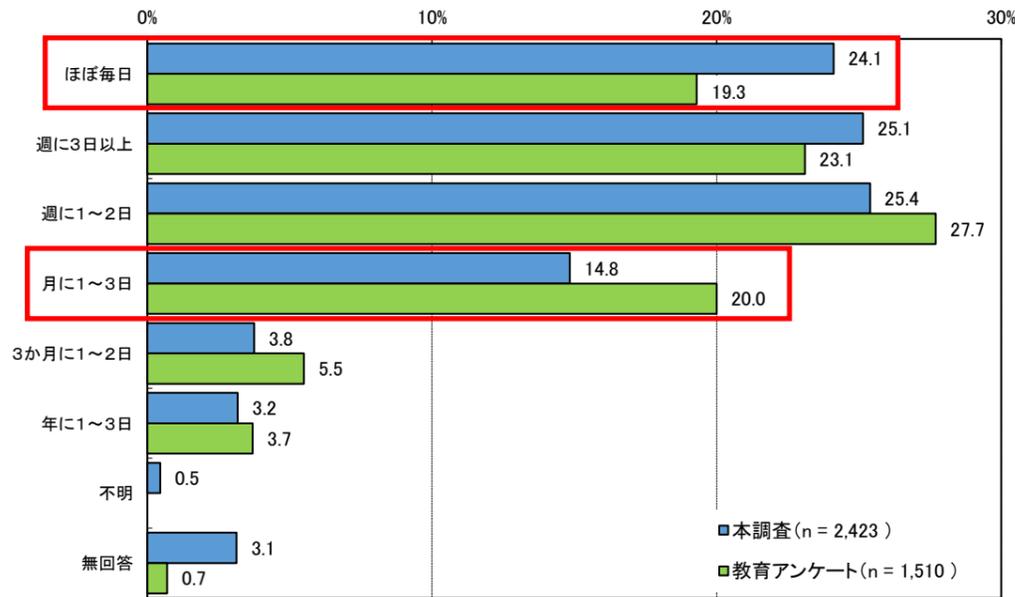
### (1) 運動・スポーツの実施状況と内容

日常の健康づくりに主眼を置いたものの割合が高い傾向にある。今回新たに設けた選択肢「障がい者スポーツ」及び「eスポーツ（電子機器で行うスポーツ）」を除くと、「その他」及び「運動やスポーツを行わなかった」以外は「教育アンケート」と比較してポイントが減少している。



(2) 運動・スポーツの実施頻度

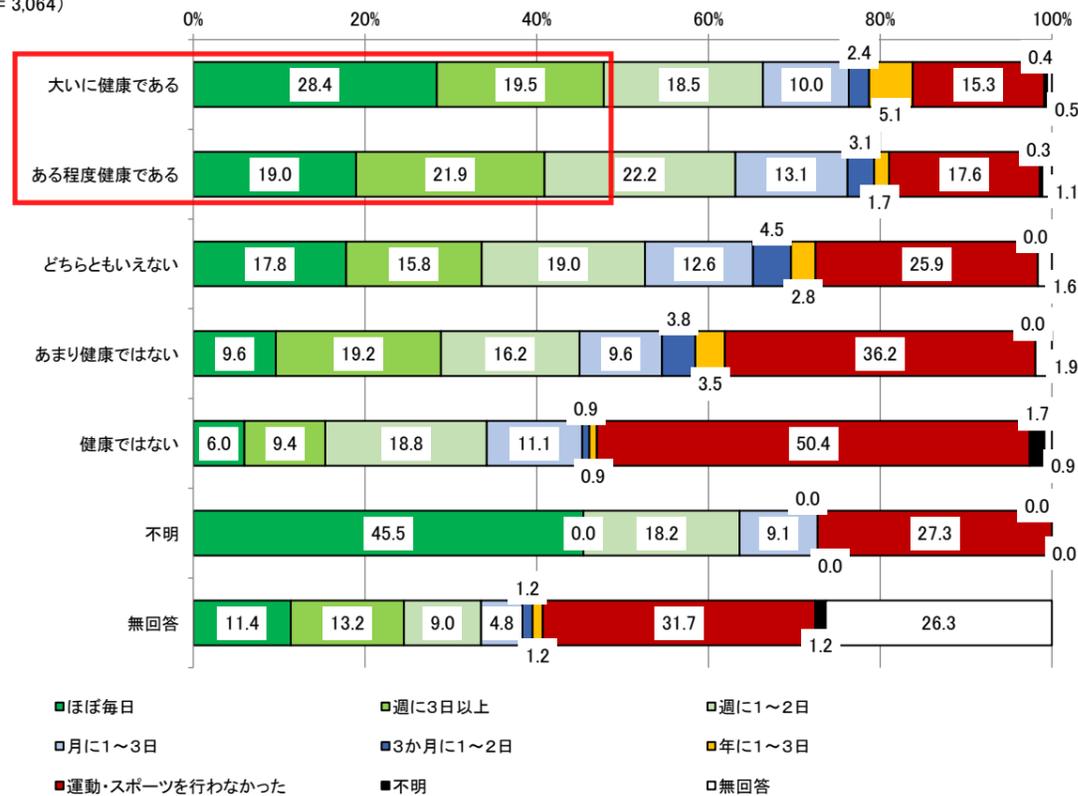
「教育アンケート」と比較すると、「月に1~3日」が5.2ポイント減少している一方で、「ほぼ毎日」が4.8ポイント増加している。また、「ほぼ毎日」、「週に3日以上」、「週に1~2日」と回答をした人を合計すると、1,811人となり、母数となる3,064人で割ると、「週に1日以上運動・スポーツを行った人」は59.1%となっている。



(3) 運動・スポーツの実施頻度と健康状態

運動・スポーツの実施頻度が高い人の方が健康状態が良好である傾向にある。  
※相関関係は見出せるが、因果関係までは不明

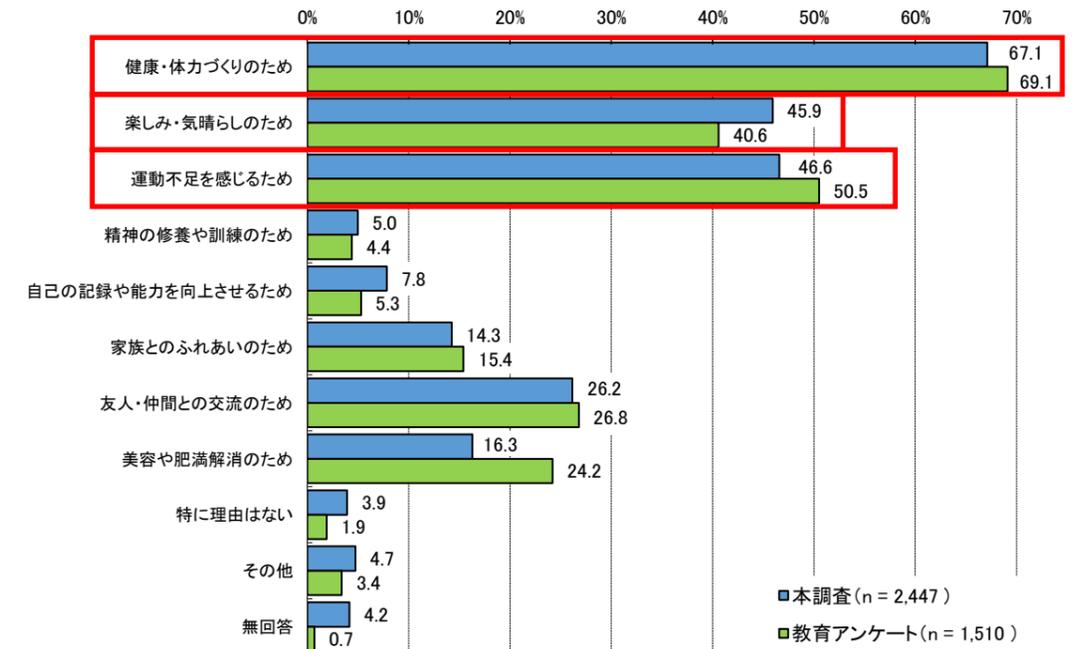
回答者数 (n = 3,064)



(4) 運動・スポーツを行った理由・行わなかった理由

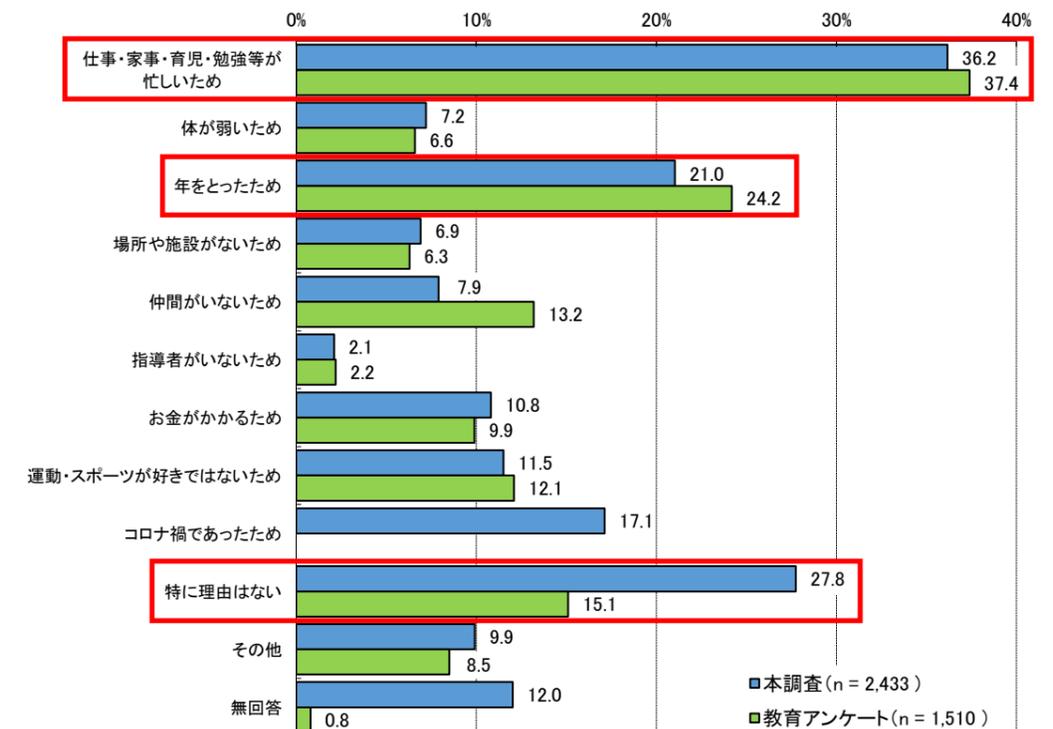
<行った理由>

「健康・体づくりのため」が1位、「運動不足を感じるため」が2位、「楽しみ・気晴らしのため」が3位となっている。「教育アンケート」と比較すると、「楽しみ・気晴らしのため」が5.3ポイント増えている一方で、「美容や肥満解消のため」が7.9ポイント少なくなっている。



<行わなかった理由>

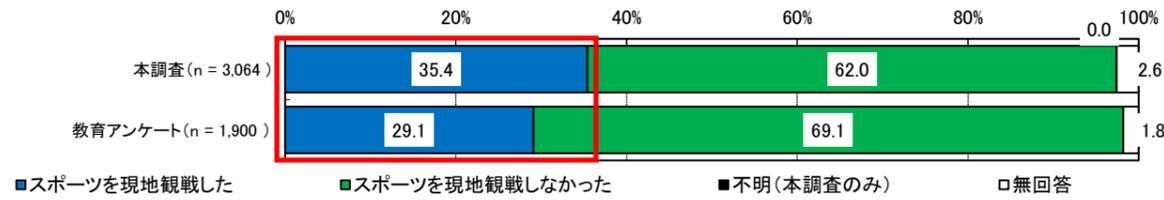
「仕事・家事・育児・勉強等が忙しいため」が1位、「特に理由はない」が2位、「年をとったため」が3位となっている。「教育アンケート」と比較すると、今回新たに設けた選択肢「コロナ禍であったため」を除くと、「特に理由はない」が大きく増加（12.7ポイント増）している。



### 3 みる（楽しむ）スポーツ

#### (1) スポーツの観戦状況

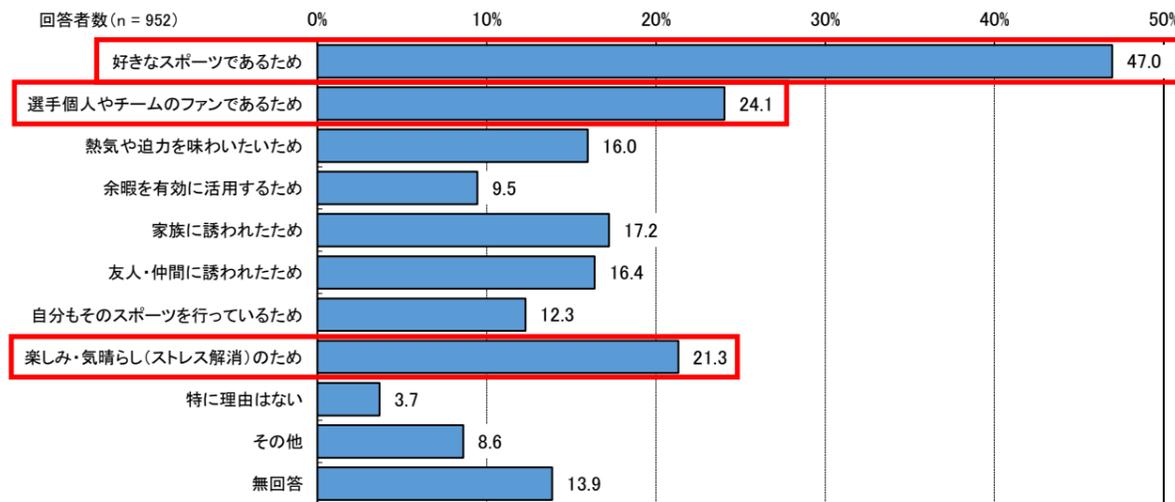
この1年間で何らかのスポーツを現地観戦した割合は、「教育アンケート」と比較して増加している。



#### (2) スポーツを現地観戦した理由・しなかった理由

##### <現地観戦した理由>

「好きなスポーツであるため」が1位、「選手個人やチームのファンであるため」が2位、「楽しみ・気晴らし（ストレス解消）のため」が3位となっている。



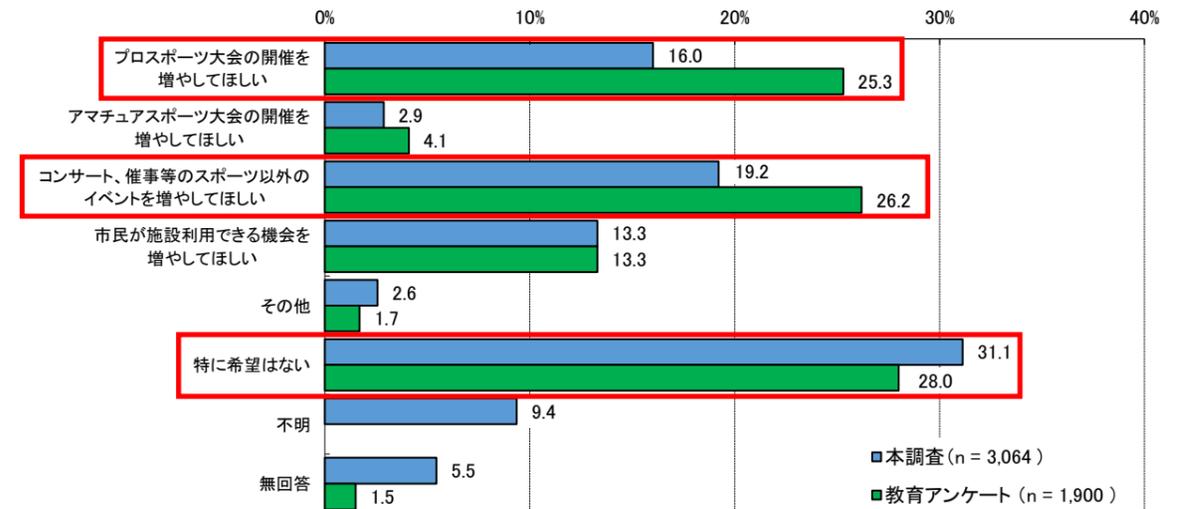
##### <現地観戦しなかった理由>

「テレビ等で観戦すれば十分であるため」が1位、「コロナ禍であったため」が2位、「仕事・家事・育児・勉強等が忙しいため」が3位となっている。



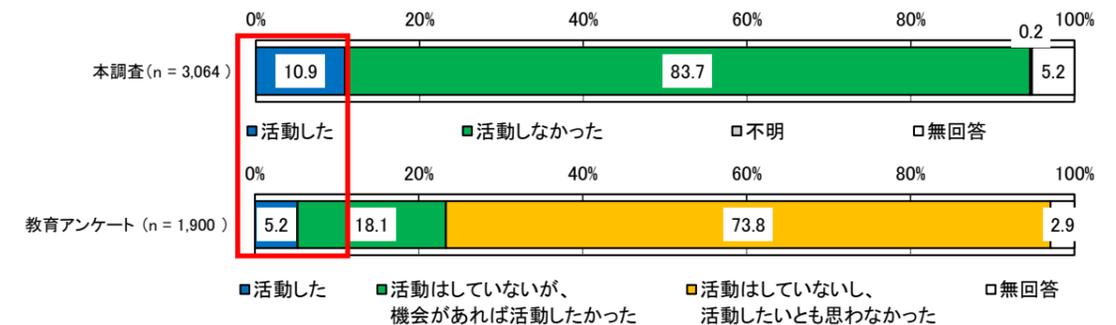
### 4 希望する市内大型スポーツ施設の利活用方法（豊田スタジアム・スカイホール豊田の利活用）

「特に希望はない」が1位、「コンサート、催事等のスポーツ以外のイベントを増やしてほしい」が2位、「プロスポーツ大会の開催を増やしてほしい」が3位となっている。「教育アンケート」と比較すると、「プロスポーツ大会の開催を増やしてほしい」が大きく減少している。



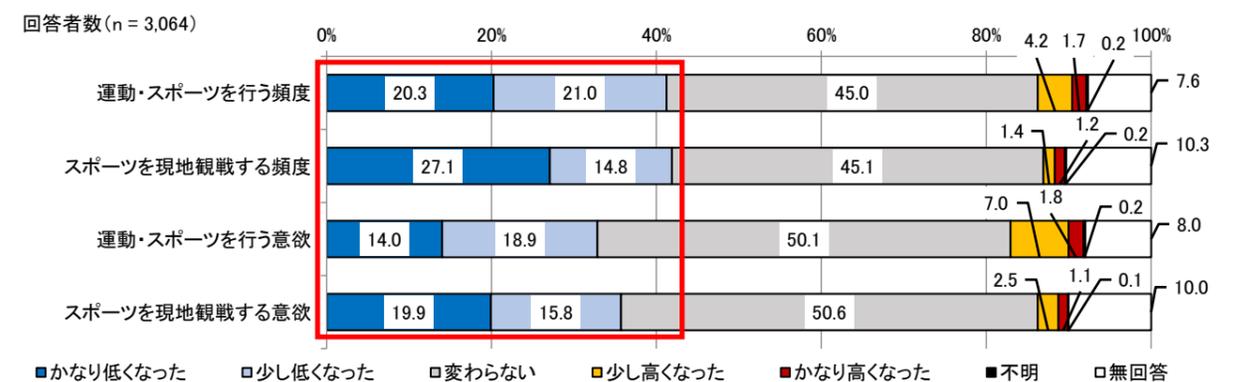
### 5 支えるスポーツ

この1年間でスポーツを支える活動に参加した割合は、「教育アンケート」と比較し、増加している。



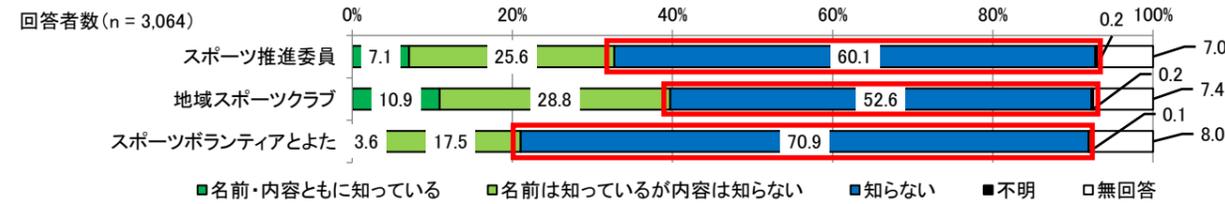
### 6 新型コロナウイルス感染拡大による影響

「運動・スポーツを行う頻度及び意欲」、「スポーツを現地観戦する頻度及び意欲」いずれも、コロナ前と比較し、「低くなった」と回答した割合が高い傾向にある。

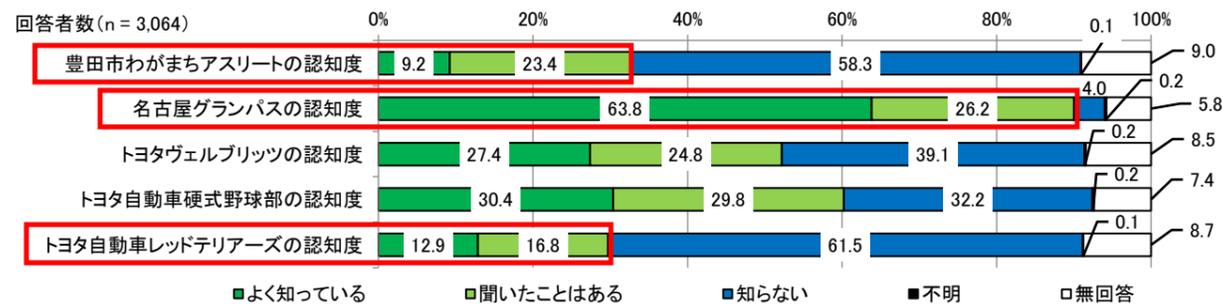


## 7 市内の各種スポーツ団体や取組等の認知度

(1) 「スポーツ推進委員」、「地域スポーツクラブ」、「スポーツボランティアとよた」の認知度は以下のとおり。いずれも「知らない」が最も多くなっている。



(2) 個別のトップスポーツチームや、「豊田市わがまちアスリート」の認知度は以下のとおり。「名古屋グランパス」の認知度は90%を超えているが、「豊田市わがまちアスリート」と「トヨタ自動車レッドテリアーズ」の認知度は30%程度にとどまっている。



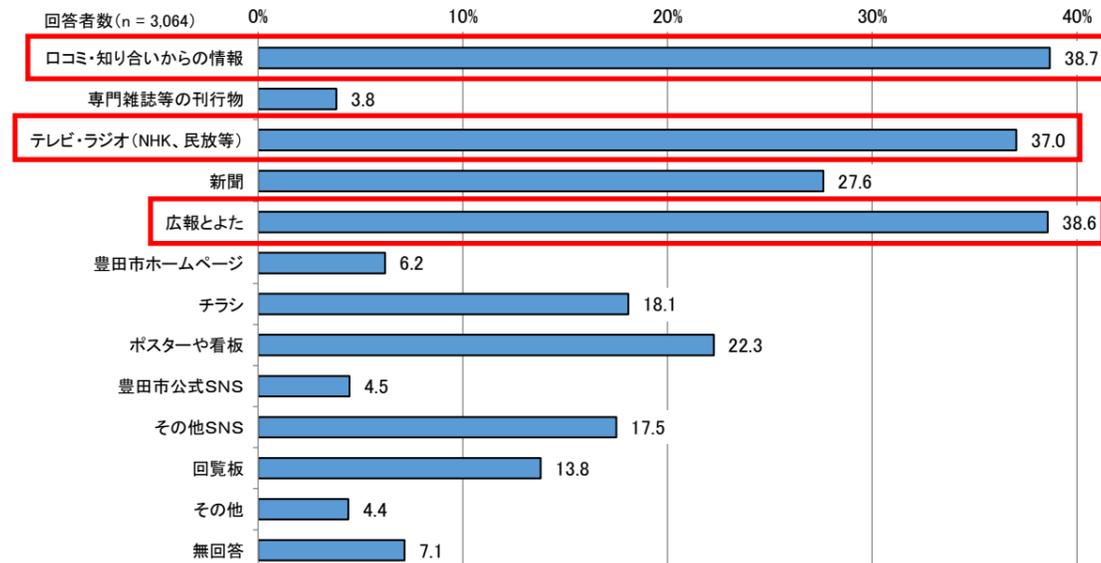
(3) 世界ラリー選手権（WRC）の認知度は75.6%となっている。



## 8 スポーツに関わる情報の取得状況

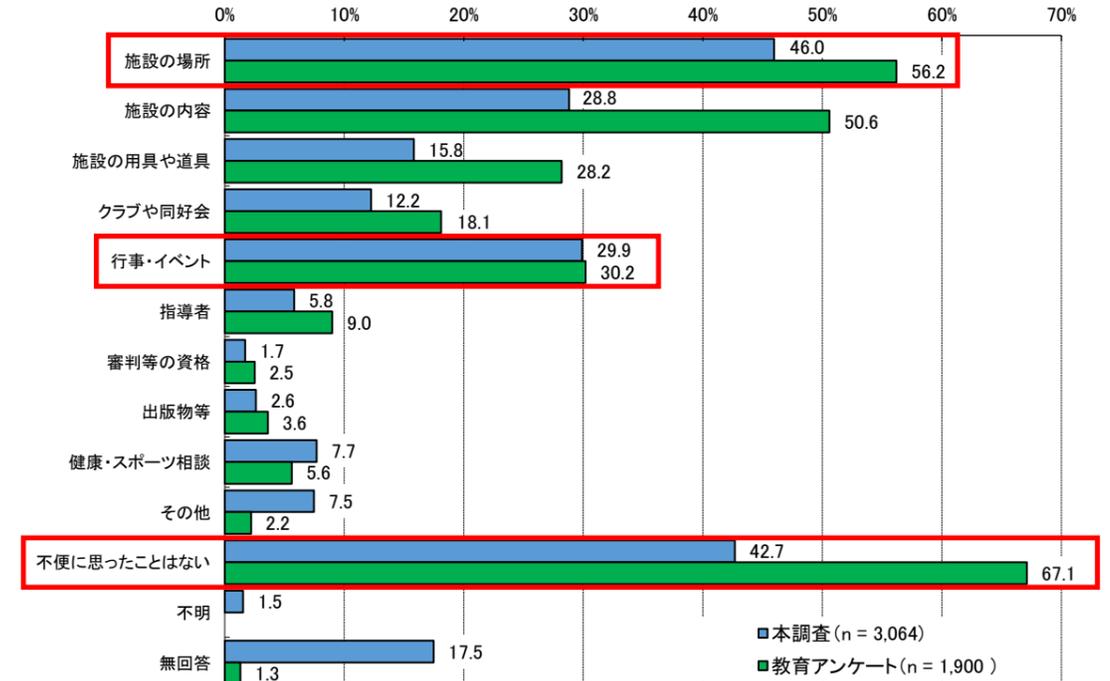
(1) 情報の取得方法

「口コミ・知り合いからの情報」が1位、「広報とよた」が2位、「テレビ・ラジオ（NHK、民放等）」が3位となっている。



(2) 情報不足で不便に感じる事

「施設の場所」が1位、「不便に思ったことはない」が2位、「行事・イベント」が3位となっている。「教育アンケート」と比較すると、「不便に思ったことはない」と回答した割合が大きく減少（24.4ポイント減）している。



## 9 スポーツ振興施策についての考え

運動やスポーツに関して今後市が力を入れていくべき内容としては、1位が「年齢層にあったスポーツの普及」、2位が「大規模スポーツ施設（豊田スタジアムやスカイホール豊田）の機能向上」、3位が「市民が参加できるスポーツイベントの開催」となっている。

